

沖縄総合事務局総務部入札監視委員会(平成29度3回)議事概要

開催日時及び場所	平成29年12月14日(木)15時～17時 沖縄総合事務局 6階 特別会議室	
出席委員	・当山尚幸(委員長:弁護士) ・酒井一人(琉球大学農学部教授) ・崎山律子(フリージャーナリスト)	
審議対象期間	平成29年7月1日 ～ 平成29年9月30日	
項目	抽出案件	備考
総件数	82 件	
工事	24	
① 一般競争入札方式(政府調達)	1	
② 一般競争入札方式	23	
③ 工事希望型競争入札方式	0	
④ 指名競争入札	0	
⑤ 随意契約	0	
建設コンサルタント業務等	36	
① 一般競争入札方式	4	
② 公募型競争入札方式	0	
③ 簡易公募型競争入札方式	14	
④ 指名競争入札	7	
⑤ 公募型プロポーザル方式	0	
⑥ 簡易公募型プロポーザル方式	9	
⑦ 標準プロポーザル方式	0	
⑧ 参加者の有無を確認する公募手続きを行った契約	0	
⑨ 随意契約	2	
役務の提供等及び物品の製造等	22	
① 一般競争入札方式	19	
② 指名競争入札	0	
③ 企画競争方式	2	
④ 参加者の有無を確認する公募手続きを行った契約	0	
⑤ 随意契約	1	
<b>議事</b> 1. 指名停止等の運用状況について 2. 平成29年7月～9月における公共工事等の発注状況について 3. 抽出事案の審議について		
委員の意見・質問等	回答	
1. 工事 ○ 平成28年度宮古伊良部農業水利事業伊良部送水路野原工区(その2)他工事 〔 ・ 入札方式 一般競争入札 ・ 業種区分 農林土木工事 競争参加資格 ・ を確認した者 9者 の数 ・ 入札者数 6者 ・ 契約締結日 平成29年7月7日 ・ 契約の相手方 先島建設株式会社 ・ 契約金額 206,280千円 〕	・ 2者は入札保証金未納付のため無効となっている。業者へ理由を伺ったところ営業と経理担当で食い違いがあり、納付を失念してしまったと伺っている。3者は辞退しているのだが、他の入札と重なり、他の入札を優先したため本件工事は辞退したと伺っている。他の2者は予定価格超過と低入札だが、こちらは当局が考える積算と業者の積算の考えが違っていたのではないかと考えている。	

<ul style="list-style-type: none"> <li>入札の2者で金額の高い方が落札になっているが、技術点のどこで差がついているのか。</li> <li>県内業者が入札の対象になるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>技術者評価の「工事の施工経験」、「当該地域での施行実績」、「継続教育(CPD)の取組」で技術点の差がついている。</li> <li>資格要件を農林土木工事B等級としており、県内に実績ある業者は多数いるので、競争性は保たれていると考えている。</li> </ul>
--	--

委員の意見・質問等	回答
<p>2. 建設コンサルタント業務等</p> <p>○ 平成29年度防犯灯・防犯カメラ設置工事に係る仕様書案作成等業務</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>入札方式 一般競争入札</li> <li>業種区分 建築関係建設コンサルタント</li> <li>競争参加資格を確認した者の数 2者</li> <li>入札者数 2者</li> <li>契約締結日 平成29年8月10日</li> <li>契約の相手方 株式会社環境設計国建</li> <li>契約金額 8,964千円</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>予定価格はどのように設定したのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事前に参考見積を頂いて、それを参考に設定しています。</li> </ul>

委員の意見・質問等	回答
<p>3. 役務の提供及び物品の製造等</p> <p>○ 平成29年度沖縄ものづくり事業化支援プロジェクト</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>入札方式 一般競争入札</li> <li>業種区分 役務の提供等</li> <li>競争参加資格を確認した者の数 2者</li> <li>入札者数 2者</li> <li>契約締結日 平成29年7月26日</li> <li>契約の相手方 一般財団法人南西地域産業活性化センター</li> <li>契約金額 10,611千円</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>総合評価方式となっているが、企画の審査はどのようにするのか。また本件の評価はどこで差がついているのか。</li> <li>企画提案書を採点する場合、採点者はどの事業者の提案が分からないようになっているのか。</li> <li>入札者が2者と少ないが、他にいないのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「事業内容及び実施方法」、「事業実施主体の実績・能力」、「業務実施予定者の経験・能力」等を審査する。そして5人の委員の平均点を技術点としている。また本件は評価項目の中の「波及効果」、「組織としての専門性、類似事業の実績」、「事業内容に関する専門知識、適格性」という項目で点数の差が出ている。</li> <li>事業者には企画提案をプレゼンテーションで行ってもらっているため、事業者と採点者は顔を合わせることはなる。</li> <li>入札は2者だったが、資料受取業者は15者おり、シンクタンクは当該2者以外にもある。</li> </ul>

委員の意見・質問等	回答
<p>4. 役務の提供及び物品の製造等</p> <p>○ 平成29年度「地域中核企業創出・支援事業（沖縄医療関連産業クラスター構築事業）」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入札方式      企画競争</li> <li>・ 業種区分      役務の提供等</li> <li>・ 契約締結日    平成29年7月4日</li> <li>・ 契約の相手方   株式会社おきぎん経済研究所</li> <li>・ 契約金額      7,000千円</li> </ul> </div> <p>・ 先ほど審議した案件「平成29年度沖縄ものづくり事業化支援プロジェクト」では、審査委員は外部委員と内部委員両方いたが、本件では審査委員は外部委員のみとなっているが、なぜか。</p>	<p>・ 経済産業省の通達で、企画競争案件については外部委員のみで審査を行うことが決められている。先ほどの案件は一般競争入札（総合評価落札方式）のため、本件とは違った委員構成となっている。</p>